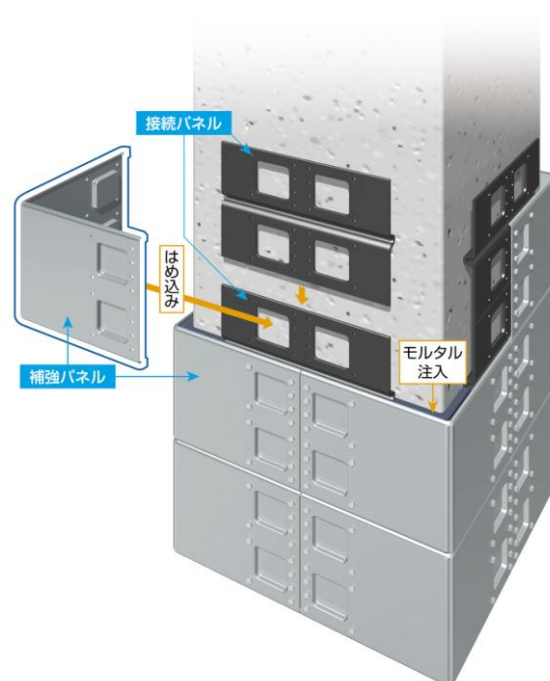


【技術の名称】 耐震SDJパネルを用いた3Q-Column工法 －嵌め込みとボルト接合による鋼製パネル巻立て 柱補強工法－（改定）	性能証明番号：GBRC 性能証明 第08－02号 改 性能証明発効日：2010年5月11日 【取得者】 株式会社大林組 新日鉄エンジニアリング株式会社
---	--

【技術の概要】

本技術は、鋼製パネル（耐震 SDJ パネル）を、鉄筋コンクリート造または鉄骨鉄筋コンクリート造の既存柱の四周に巻き立てる耐震補強工法である。耐震 SDJ パネルは、L 型またはコ型の補強パネルと平板状の接続パネルからなる。既存柱の四周において、補強パネル両端部の突起部を接続パネルの開口部に嵌め込むとともに、両パネル間をボルトで固定し、その後、既存躯体と鋼製パネルの空隙部にモルタルを充填する。本工法は、2008 年 5 月に性能証明を取得（GBRC 性能証明第 08-02 号）した後、2010 年 5 月の改定により、補強方向と直交して壁が取り付け壁付柱を補強対象に加えるとともに、耐震 SDJ パネルに用いる鋼材種類を追加している。



工法概要

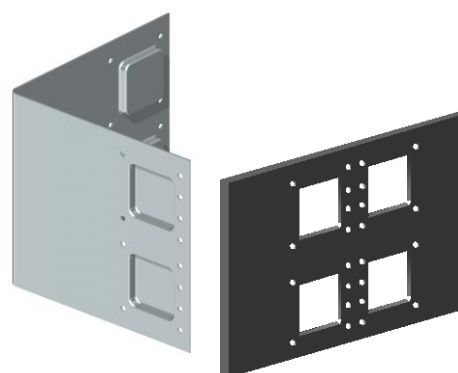
【技術開発の趣旨】

従来、既存柱の鋼板巻き立て補強は、複数の折り曲げた鋼板を現場溶接にて接合して行われる。この場合、溶接性確保のため必要な板厚が、補強に必要な板厚を上回る場合がある。また、現場溶接の火気に対する養生が必要となる。本技術は、これら現場施工における問題の解消または軽減を意図して開発されたものである。

【性能証明の内容】

耐震 SDJ パネルを用いた 3Q-Column 工法「性能証明のための説明資料」には、本技術の目標性能達成の妥当性を確認した説明資料と、設計・施工要領書がまとめられている。

申込者提案の耐震 SDJ パネルを用いた 3Q-Column 工法による鋼製パネル巻立て補強柱は、本工法設計・施工要領書に示された終局耐力および変形性能（耐震診断に用いる F 値）を有すると判断される。



補強パネル（左）と接続パネル（右）

【本技術の問合せ先】

株式会社大林組 担当者：杉本訓祥 E-mail：sugimoto.kuniyoshi@obayashi.co.jp
〒204-8558 東京都清瀬市下清戸 4-640 TEL：042-495-1029 FAX：042-495-0904
新日鉄エンジニアリング株式会社 担当者：外園 聡 E-mail：hokazono.soh@nsc-eng.co.jp
〒141-8604 東京都品川区大崎 1-5-1 TEL：03-6665-4364 FAX：03-6665-4812